

第52期 第2四半期 報告書

平成24年3月1日 ▶ 平成24年8月31日



おかげさまで過去最高益を更新。
この成果を株主の皆様へ還元させていただきます。

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当第2四半期のわが国経済は、海外経済の減速に伴う輸出停滞や復興需要が広がりを見せないことなどから、足踏み感が強まってまいりました。小売業界におきましては、消費税増税見通しにより消費者がより生活防衛的な姿勢を示す中、業態を超えた競争の激化や価格訴求強化の動きが強まるなど、数量・単価の両面で下落圧力が高まる対応の難しい状況が続きました。

当社グループにおいては、創業50周年の節目を迎えた前年度に続き、当年度を更なる飛躍を遂げる新たなスタートの年と位置づけており、今後の環境変化を展望しつつ、当社グループならではの独自の価値を創造する道筋を模索してまいりました。そして、ご提供する商品の品質・価格をお客様の視点で見直していくとともに、人材活性化によるサービスの向上に努めました。また、小商圈型業態の積極出店により企業成長を実現するべく、当該業態における収益性向上の取り組みと出店候補地の獲得を推し進めました。同時に、将来の一段の価格対応を見据えて、コスト構造の見直しと生産性の改善にも取り組みました。

具体的な取り組みとしては、引き続き「いいものを安く」をスローガンに掲げ、品揃えや価格設定を見直すとともに原価低減に努めました。特に、衣料品部門においては、従来より若い年齢層に向けて魅力ある商品を低価格で提供する取り組みを進めてまいりました。さらに直営各部門では、前期に引き続き新規事業の開発を進め、店舗の競争力の向上に努めました。

また、テナント部門においては、テナント構成を積極的に見直し、競争力の高い有力テナントの導入により店舗全体の集客力の向上を図りました。

さらに、当グループ独自の電子マネー「ゆめか」は、取扱先

の拡充や顧客利便性の向上により会員数が急速に増加しており、取扱手数料収入を増大させました。

これらの結果、当第2四半期の連結業績は、期初の予想を上回る増収増益を達成することができました。これは第2四半期ベースで過去最高益であり、通期につきましても同様に最高益を更新する見通しであります。

つきましては、この成果を株主の皆様へ還元するべく一株当たり配当金を増配させていただきたいと存じます。

株主の皆様におかれましては引き続きご指導ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



代表取締役社長
山西泰明

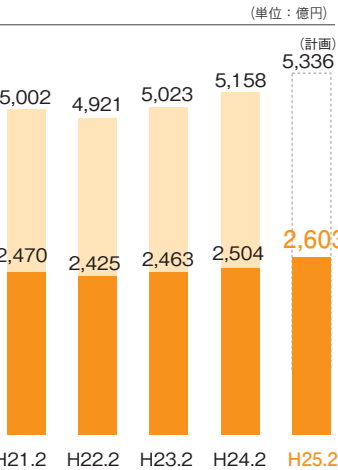
進化し、深化する「youme」を。
地域になくてはならない存在。私たちは「地域一番店」を目指します。



連結財務ハイライト

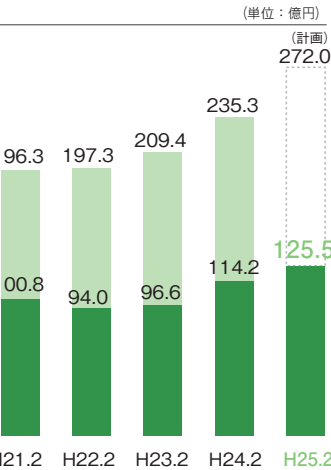
営業収益

	前年同期比
2,603億円	103.9%



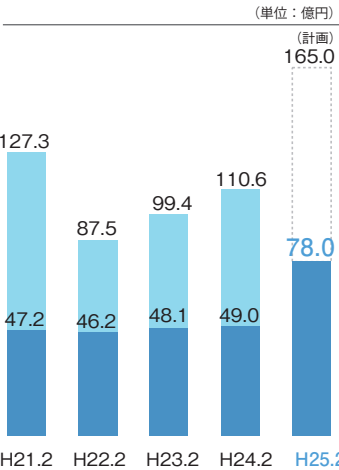
経常利益

	前年同期比
125.5 億円	109.9%

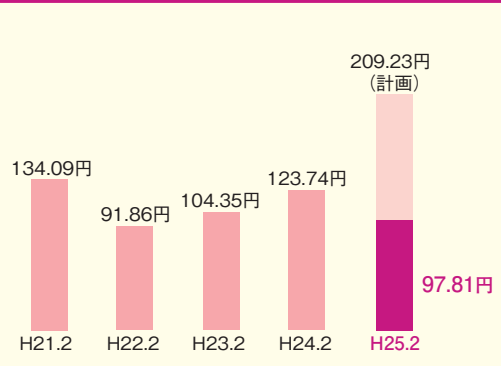


当期（四半期）純利益

	前年同期比
78.0 億円	159.3%



1株当たり当期（四半期）純利益



1株当たり配当金

過去最高益の更新に当たり、一株当たり配当金を以下のとおり増配させていただきます。

	第2四半期末	期 末	年 間
H23.2期	8.00円	8.00円	16.00円
H24.2期	8.00円	12.00円	20.00円
H25.2期 (前年同期比)	18.00円 (+10.00円)	18.00円(計画) (+6.00円)	36.00円(計画) (+16.00円)

イズミは地域の夢にあわせて、 ワクワクと感動の店づくりを広げています！

イズミの店舗戦略は地域の夢にあわせた店舗で出店することが基本。
小商圏の新業態「youmeマート」開発をはじめ、
既存ショッピングセンターの核GMSとしての出店、
さらには発展が期待される地域の核施設「ゆめタウン」の出店など、
地域に即した柔軟な店づくりを進めています。



youmeマート小倉東店 ゆめタウンに続く新フォーマット第1号店

2012.6.28
OPEN

店舗概要 ・敷地面積/約 10,000 m² ・延床面積/約 4,200 m² ・店舗面積/約 2,700 m² ・駐車台数/約 160 台 ・駐輪台数/約 80 台

ドラッグストアを併設し、日常品を1カ所に集積！ 毎日「いいものが安い！」

「youmeマート」は、人口密度の高い小規模商圏向けに投入する新フォーマットの戦略的店舗です。その第1号店「youmeマート小倉東店」が、6月28日、北九州市小倉南区にオープンしました。

その特徴は、ドラッグストアを併設したコンパクトなワンフロア構成で、日常品がすべて揃うこと。そして足元商圏に多い単身世帯やシニア世代の需要に対応し、生鮮食品は地域一番の「鮮度と価格」にこだわり、「少量」「即食」「簡便調理」をキーワードにした商品展開により、デイリーな利用を呼び込んでいます。



店舗戦略 新鮮・わくわく・驚きの youme

ゆめタウン小野田 おのだサンパークの新しい核テナント！

おのだサンパークに
2012.6.20
OPEN

おのだサンパーク概要 ・敷地面積/約90,660m² ・延床面積/約67,600m² ・店舗面積/約38,000m² (内ゆめタウン出店面積/約8,000m²) ・駐車台数/約2,200台

生活密着の利便性と ちょっとリッチなライフスタイルを提案！

「ゆめタウン小野田」は、山陽小野田市の公共施設やスポーツ施設が集積する地区にある「おのだサンパーク」の核テナント(GMS)として、地域の声に応じてオープンしました。

「いいものが安い」を合い言葉に、毎日のお買い物が楽しい1階食品フロアと、ファッションブルとリーズナブルが共存する2階ファッションフロアの2層構造。商圏に多い小さな子ども連れのアラサーファミリーに照準をあわせた品揃えで、「ちょっとリッチ」なお買い物が愉しめるお店をめざしています。



2015年開業予定

益城町ショッピングセンター（仮称）

熊本県中央部の交通要衝に立地し、
にぎわいと交流の拠点として期待！

熊本県益城町は、熊本都市圏に隣接した郊外型の住宅地で、熊本空港や九州道からも近いことから、近年人口増加が続いている地域です。
イズミでは新業態「ゆめマート」型店舗を中心に、家電や書籍、ホームセンターなどを集積させたパワーセンターを、2015年に開業する予定で計画を進めています。



【店舗概要】・敷地面積/約 71,500 m² ・延床面積/約 32,000 m² ・店舗面積/約 21,000 m² ・駐車台数/約 1,360 台

「沖縄フェア」各店で大好評開催！

イズミでは5月から6月にかけて、沖縄県の食材や特産品を結集した「沖縄フェア」を、広島・岡山・兵庫・山口・島根・福岡などの「ゆめタウン」44店舗で開催しました。いずれの店舗でも、お客様から大好評をいただきました。

「沖縄フェア」は、沖縄県の本土復帰40周年を記念して開催したものです。フェアの会場では、沖縄県を代表する食品メーカーや農業生産者とともに、あぐー豚・ソーキそば・泡盛など、沖縄県ならではの「おいしさ」を紹介しました。

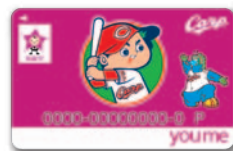
イズミでは、このような特産品等の販売や紹介を通じて、地域のお客様の文化交流や経済振興を応援しています。



2つの「ゆめか」新登場！

ゆめタウンをはじめ、イズミやその周辺の店舗などで電子マネーとして使える「ゆめか」に、新しい仲間が2種類登場しました。

「カープゆめか」は、プロ野球カープ球団を愛する人におくる「ゆめか」で、デザインにカープのマスコットを採用。地元愛にあふれたカードです。もうひとつは「ピースアーチゆめか」で、広島県が推進している「PEACE ARCH HIROSHIMA」プロジェクトに連携し、広島から平和を広げていく活動を支援するカードです。



カープゆめか



ピースアーチゆめか

ゆめタウンのオリジナルランドセルを発売

イズミは、ランドセルのトップメーカー3社と共同開発したオリジナルランドセルを、ゆめタウン・イズミ62店舗で発売しています。ランドセルは、子どもたちの学び心を育てる大切なアイテム。2011年度からは「脱ゆとり教育」もはじまり、学習教材の大型化・重量化に対応することも大切です。

そこでイズミは機能性とデザイン性に優れた専門メーカー3社とコラボレーションし、「大きくて軽い」ランドセルを100種類もの豊富なバリエーションで用意しました。一人ひとりの個性や体型に最適なランドセル。しかもすべて6年無料保証付きで、安心です。



東ちづるの3.11 東日本大震災チャリティー展「よりそう」泉美術館で開催

財団法人泉美術館で、平成24年7月24日～平成24年8月15日、「東ちづるの3.11 東日本大震災チャリティー展『よりそう』」を開催しました。

女優の東ちづるさんはライフワークで障がいのあるアーティストの活動支援とともに、東日本大震災発生後には全国各地で、復興支援のチャリティー絵画展を開催されています。今回の絵画展はその活動に共鳴し開催したもので、平成24年7月28日には東さんご自身が来館しトークイベントも行いました。



エコステ導入店舗ひろがる！

イズミではエコロジー活動の一環として、古紙回収量に応じてポイントを付与する「エコステ（ポイント制古紙回収リサイクルステーション）」を、店舗に設置しています。平成24年8月24日にゆめタウン佐賀にも設置し、ゆめタウンとイズミあわせて27店舗に広がりました。



「九州北部豪雨」災害義援金募金を寄託

本夏、九州北部を襲った豪雨で被災された皆様に、心よりお見舞い申し上げます。

イズミでは、「九州北部豪雨」被災地救援を目的に、ゆめタウン・イズミ全91店舗で、義援金募金活動を実施。お客様や従業員から、総額1,415,275円の義援金が集まり、これを平成24年8月24日に日本赤十字社にお届けしました。

ともに「夢」を育てるイズミグループ



熊本県の「ハローグリーンEVERY」(西紅)が、新たにグループインしました！

株式会社 ゆめマート

(株)ゆめマートは現在熊本県内で14店舗を展開していますが、平成24年9月28日付けで、(株)西紅(熊本市)の株式を全株取得して子会社化し、全面支援していくこととなりました。

(株)西紅は、熊本県内において“安・信・気・楽”の経営方針のもと「ハローグリーンEVERY」5店舗を展開している食品スーパーです。子会社化の目的は、個人消費の不振や競合激化など市場環境が厳しい中、(株)ゆめマートと(株)西紅が連携し、互いの経営資源を活用することで、熊本地域における存在感と経営のスケールメリットを高めることです。そして地域密着型の小売業として、各店舗の競争力の強化とお客様満足度の向上に努めてまいります。



小倉あるあるCity



イズミテクノは外部への業務拡大をめざし、新しい仕事にチャレンジしています。

株式会社 イズミテクノ

イズミテクノは、ゆめタウンやイズミなど大型施設の管理・運営、警備、クリーンサービスの業務をとおして、安全で快適な環境を提供する企業です。その技術ノウハウときめ細かなサービス精神をいかして、現在は公共施設の指定管理者など、グループ外部にも活動領域を広げています。

その一環として、北九州市小倉駅前に今春オープンした大型施設「小倉あるあるCity」の管理業務も受注。本施設は、アニメやゲームなどのカルチャーをテーマにした複合施設で、小倉地区の新しい賑わいを創出することが期待されています。このように新しい仕事にチャレンジすることで、地域の活性化にも貢献したいと考えています。



小倉あるあるCity

イズミグループは、小売事業を中核とし、無駄のないスリムなグループ構造を維持すると同時に、その他関連事業とのシナジー効果を追求してまいります。

各グループ企業が、それぞれの特性を活かしつつ、積極的に事業展開することで、お客様に新たな驚きと感動をお届けしてまいります。



電子マネー「ゆめか」で
西日本No.1の地域通貨を目指します。

株式会社 ゆめカード

2010年8月に誕生した電子マネー「ゆめか」は、ゆめタウンのお客様を中心に利用が広がり、現在の会員様は、おかげさまで70万人を突破いたしました。「ゆめか」の利便性向上のために、今ではゆめタウンだけでなく、周辺の地域で利用できる加盟店を次々に拡大しています。

今後はキャンペーンやイベントなど多方面にわたり電子マネー「ゆめか」の定着と拡大をはかることで会員様300万人を実現し、さらには西日本No.1の地域通貨となることを目指してスピードを上げて取り組むとともに、ゆめかシステムの利用をご提案するASP事業も拡大してまいります。



「変える」「実行する」をスローガンに、「お客様の満足度NO.1」を目指します！

イズミ・フード・サービス 株式会社

外食産業を取り巻く環境がますます厳しさを増しているなか、当社は環境の変化に敏感に対応し、人材育成の強化、既存店の活性化、新規事業の積極的な展開に取り組んでおります。新規事業としては、「大阪王将」5号店をゆめタウン行橋に、「サブウェイ」5号店、6号店をゆめタウン三豊とゆめタウン山口に新規出店いたしました。

また、お客様をお待たせしない「スピード提供」に全社を挙げて取り組んでおり、お客様満足度の更なる向上を目指してまいります。



業績ハイライト

営業収益

2,603 億円

前年同期比
103.9%

経常利益

125.5 億円

前年同期比
109.9%

四半期純利益

78.0 億円

前年同期比
159.3%

連結決算の推移

単位:百万円

	通 期			第 2 四 半 期	
	平成23年2月	平成24年2月	平成25年2月計画	平成23年8月	平成24年8月
営 業 収 益	502,379	515,875	533,600	250,462	260,344
前期比	102.1%	102.7%	103.4%	101.7%	103.9%
営 業 利 益	21,783	24,254	28,100	11,832	13,037
前期比	106.7%	111.3%	115.9%	115.6%	110.2%
経 常 利 益	20,949	23,539	27,200	11,422	12,558
前期比	106.2%	112.4%	115.6%	118.1%	109.9%
当 期(四 半 期)純 利 益	9,941	11,062	16,500	4,901	7,809
前期比	113.6%	111.3%	149.1%	101.8%	159.3%
総 資 産	368,584	370,377	—	368,560	376,876
純 資 産	132,513	125,389	—	128,971	126,152
1株当たり(四半期)利益	104.35円	123.74円	209.23円	51.96円	97.81円
1株当たり純資産	1,286.20円	1,388.45円	—	1,309.86円	1,466.50円

[参考] 単体決算の推移

単位:百万円

	通 期			第 2 四 半 期	
	平成23年2月	平成24年2月	平成25年2月計画	平成23年8月	平成24年8月
営 業 収 益	480,602	494,158	511,200	239,548	249,895
前期比	102.3%	102.8%	103.4%	101.8%	104.3%
営 業 利 益	17,716	19,948	23,600	9,555	10,628
前期比	105.7%	112.6%	118.3%	118.3%	111.2%
経 常 利 益	16,505	19,086	22,500	9,060	10,095
前期比	106.7%	115.6%	117.9%	125.8%	111.4%
当 期(四 半 期)純 利 益	8,180	8,965	12,800	3,784	5,802
前期比	104.3%	109.6%	142.8%	102.6%	153.3%
総 資 産	319,783	320,942	—	319,021	324,295
純 資 産	106,301	96,502	—	101,423	97,856
1株当たり配当金	16.00円	20.00円	36.00円	8.00円	18.00円

連結財務諸表

[連結] 貸借対照表

単位:百万円

	前期末 H24.2.29	当第2四半期末 H24.8.31		前期末 H24.2.29	当第2四半期末 H24.8.31
(資産の部)			(負債の部)		
流動資産			流動負債		
現金及び預金	6,260	6,330	支払手形及び買掛金	21,715	24,682
受取手形及び売掛金	20,323	21,842	短期借入金	32,025	44,850
商品及び製品	20,677	20,493	1年内返済予定の長期借入金	23,969	19,951
仕掛品	17	23	未払法人税等	6,179	4,572
原材料及び貯蔵品	267	288	賞与引当金	1,482	1,896
その他	14,324	13,396	役員賞与引当金	62	2
貸倒引当金	△ 830	△ 770	ポイント引当金	1,584	1,656
流動資産合計	61,040	61,605	商品券回収損失引当金	53	52
固定資産			その他	15,851	12,707
有形固定資産			流動負債合計	102,924	110,371
建物及び構築物	139,428	135,806	固定負債		
土地	121,051	128,045	長期借入金	101,605	99,918
その他	8,410	11,410	退職給付引当金	6,070	6,201
有形固定資産合計	268,891	275,261	役員退職慰勞引当金	962	1,167
無形固定資産	7,059	6,726	利息返還損失引当金	482	432
投資その他の資産			資産除去債務	6,796	7,039
その他	34,172	34,057	その他	26,145	25,593
貸倒引当金	△ 786	△ 773	固定負債合計	142,063	140,353
投資その他の資産合計	33,385	33,283	負債合計	244,987	250,724
固定資産合計	309,336	315,271	(純資産の部)		
			株主資本	112,407	115,877
			その他の包括利益累計額	△ 105	△ 231
			少数株主持分	13,087	10,505
			純資産合計	125,389	126,152
資産合計	370,377	376,876	負債純資産合計	370,377	376,876

資産・負債の状況	
資 産	3,768億円
	前期末比 ▶64億円増加
● 当第2四半期の設備投資額は13,432百万円であり、これは主に店舗新設予定土地及び本社移転予定土地の取得によるものです。その結果、有形固定資産は、減価償却実施後で6,369百万円増加しました。	
● 受取手形及び売掛金は、クレジット取扱高の増加により、1,518百万円増加しました。	
負 債	2,507億円
	前期末比 ▶57億円増加
● 有利子負債は、設備資金及び自己株式取得資金に充当するため、7,158百万円増加しました。	
● 流動負債その他は、前年第3四半期に新設した「ゆめタウン徳島」に係る設備未払金の資金決済等により、3,144百万円減少しました。	

純資産の状況	
純資産	1,261億円
	前期末比 ▶7億円増加
● 堅調な営業成績を受け株主資本が3,469百万円増加した一方、少数株主持分は子会社株式の追加取得により2,581百万円減少しました。	
● 期中に自己株式を2,024千株取得した一方、前期末時点の保有分を含めて16,411千株を消却しています。	

連結財務諸表

[連結] 損益計算書

	単位:百万円	
	前第2四半期 H23.3.1～H23.8.31	当第2四半期 H24.3.1～H24.8.31
営業収益	250,462	260,344
売上高	238,717	247,992
売上原価	186,447	194,826
売上総利益	52,269	53,165
営業収入	11,744	12,351
営業総利益	64,014	65,517
販売費及び一般管理費	52,182	52,479
営業利益	11,832	13,037
営業外収益		
受取利息	99	86
仕入割引	181	185
その他	401	316
営業外収益合計	682	589
営業外費用		
支払利息	976	948
その他	116	120
営業外費用合計	1,092	1,068
経常利益	11,422	12,558
特別利益		
固定資産売却益	11	32
有価証券売却益	2,518	—
負ののれん発生益	—	745
その他	44	48
特別利益合計	2,574	826
特別損失		
固定資産売却損	0	149
固定資産除却損	466	230
投資有価証券評価損	10	183
資産除去債務会計影響額	1,844	—
その他	221	9
特別損失合計	2,542	573
税金等調整前四半期純利益	11,453	12,810
法人税、住民税及び事業税	4,157	4,283
法人税等調整額	△ 419	465
法人税等合計	3,737	4,748
少数株主損益調整前四半期純利益	7,716	8,062
少数株主利益	2,814	253
四半期純利益	4,901	7,809

イズミグループの状況

グループシナジーを追求し、
企業価値の増大を目指します。

イズミグループは、当社、連結子会社14社及び持分法適用会社5社(平成24年8月31日現在)で構成され、総合小売業を中核に、クレジット・金融事業、不動産事業及びその他の事業を展開しております。
各グループ企業がその事業領域を明確にし、シナジー効果を追求することで、さらなる企業価値の増大を図ってまいります。

イズミ・フード・サービス
株式会社

株式会社ゆめデリカ

株式会社ゆめマート

株式会社ゆめカード

株式会社イズミ

株式会社ヤマニシ

株式会社イズミテクノ

損益の状況

営業収益 2,603億円 前期比 ▶103.9%

春先においては前第2四半期における震災特需の反動減を吸収し堅調に推移したものの、その後は天候不順による季節商材の販売苦戦や九州地方を中心とした集中豪雨被害等により伸び悩む状況が続きました（単体の既存店売上高は前年同期比0.4%減）。しかしながら、前年第3四半期にオープンした「ゆめタウン徳島」を含む新設店舗の寄与により、売上高は増収を確保しました。

経常利益 125.5億円 前期比 ▶109.9%

店舗における生産性改善を推し進めるとともに、販促コスト等諸経費全般につき費用対効果を見定め節減に努めました。これらの結果、経常利益は第2四半期ベースで最高益を更新、対売上比率は5.1%となりました(前年同期4.8%)。

四半期純利益 78.0億円 前期比 ▶159.3%

特別利益は子会社株式の追加取得による負ののれん発生益745百万円等を計上しました。特別損失が前年同期に比べて大幅に減少したことも相まって、大幅な増益となりました。

[連結] キャッシュ・フロー計算書

	単位:百万円	
	前第2四半期 H23.3.1～H23.8.31	当第2四半期 H24.3.1～H24.8.31
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	11,453	12,810
減価償却費	6,668	6,621
負ののれん発生益	—	△ 745
資産除去債務会計適用に伴う影響額	1,844	—
貸倒引当金の増減額	△ 16	△ 73
受取利息及び受取配当金	△ 146	△ 124
支払利息	976	948
投資有価証券評価損益	10	183
有価証券売却損益	△ 2,518	—
持分法による投資損益	△ 16	△ 10
固定資産売却損益	△ 10	116
固定資産除却損	466	230
売上債権の増減額	△ 1,385	△ 1,518
たな卸資産の増減額	755	156
仕入債務の増減額	2,436	2,966
その他	△ 1,239	499
小計	19,279	22,061
利息及び配当金の受取額	149	122
利息の支払額	△ 1,002	△ 941
法人税等の支払額又は還付額	△ 5,023	△ 5,858
営業活動によるキャッシュ・フロー	13,402	15,384
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△ 6,502	△ 16,011
有形固定資産の売却による収入	31	342
無形固定資産の取得による支出	△ 364	△ 178
投資有価証券の取得による支出	△ 2	△ 259
子会社株式の取得による支出	—	△ 413
短期貸付金の増減額	1,185	81
その他	361	199
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 5,290	△ 16,237
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額	5,230	12,825
長期借入れによる収入	3,000	7,500
長期借入金の返済による支出	△ 10,913	△ 13,205
自己株式の取得による支出	△ 7,718	△ 3,368
子会社の自己株式の取得による支出	—	△ 1,701
配当金の支払額	△ 762	△ 970
少数株主への配当金の支払額	△ 20	△ 20
その他	△ 133	△ 134
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 11,318	924
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 2	△ 1
現金及び現金同等物の増減額	△ 3,208	69
現金及び現金同等物の期首残高	12,316	6,260
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,107	6,330

キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フロー 153億円の収入

会社の本業である営業活動によってどれだけの資金を獲得したかを表したものです。

前第2四半期と比較すると1,981百万円増加していますが、これは主に堅調な業績を受けて税金等調整前四半期純利益が増加したこと、及び仕入債務の増減額が前第2四半期に比べて増加したことによるものです。

投資活動によるキャッシュ・フロー 162億円の支出

店舗新設等の設備投資や有価証券投資など期中の投資活動による資金の増減を表したものです。

主な支出項目は、有形固定資産の取得による支出16,011百万円です。これは主に、前年新設店舗に係る設備未払金の決済や今後の店舗新設予定土地及び本社移転予定土地の取得によるものです。

財務活動によるキャッシュ・フロー 9億円の収入

営業活動および投資活動を維持するためにどれだけの資金を調達あるいは返済したかを表したものです。

設備資金及び自己株式取得資金に充当するため短期借入金及び長期借入金を増加させました。

現金及び現金同等物の残高 63億円

会社概要

設 立 年 月 日	昭和36年10月27日
本 社 所 在 地	広島市南区京橋町2番22号 TEL 082-264-3211(代)
資 本 金	19,613,856,196円
従 業 員	正 社 員 2,487名 パートタイマー 4,473名(1日8時間換算)
店 舗 数	91店(エクセル店舗を含む)

中国地方	55店
広島県	29店
岡山県	10店
山口県	10店
島根県	6店

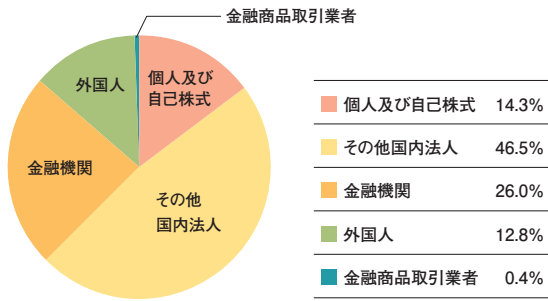
九州地方	23店
福岡県	12店
大分県	2店
熊本県	5店
佐賀県	3店
長崎県	1店

その他	13店
香川県	3店
徳島県	1店
兵庫県	3店
その他	6店

株式の状況

会社が発行する株式の総数	195,243,000株
発行済株式の総数	78,861,920株
単 元 株 主 数	4,377名
1 単 元 の 株 式 数	100株

単元株式の所有状況



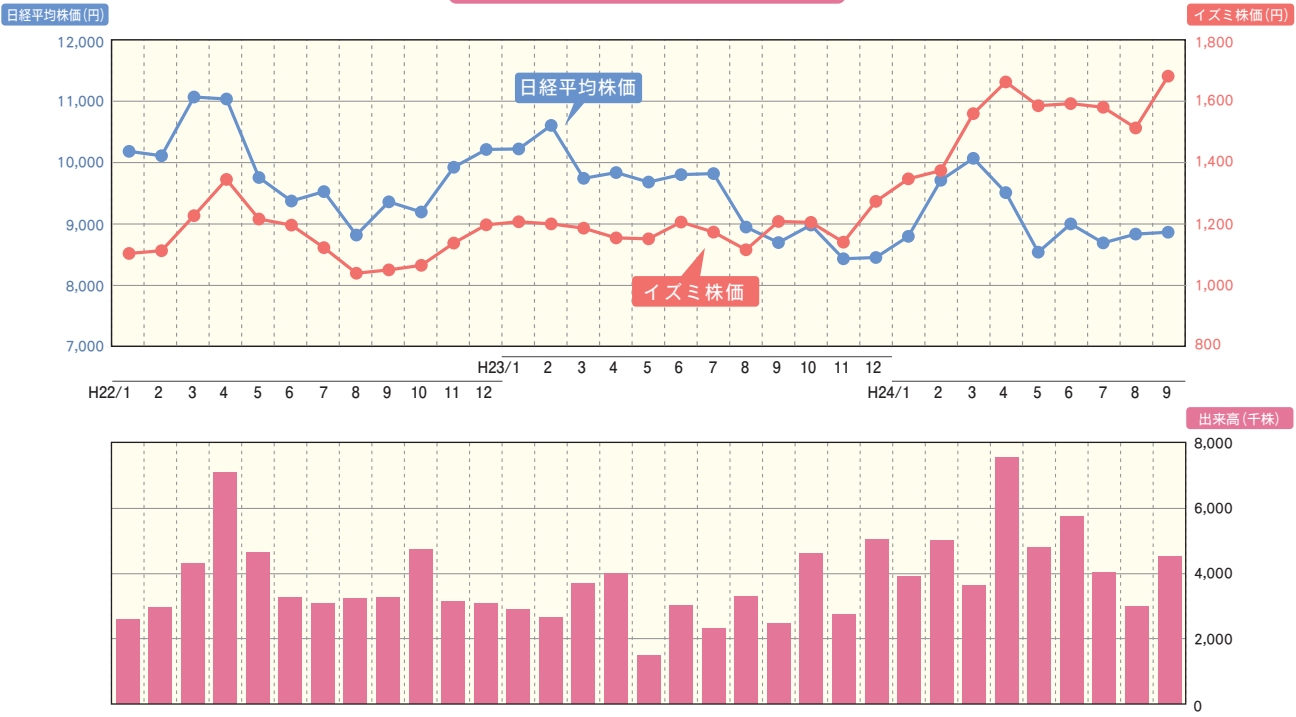
役員一覧

取 締 役 会 長	山 西 義 政
代 表 取 締 役 社 長	山 西 泰 明
専 務 取 締 役	吉 田 恒 彦
常 務 取 締 役	梶 原 雄 一 朗
常 勤 監 査 役	川 本 邦 昭
監 査 役	松 原 治 郎
監 査 役	通 堂 泰 幸

大株主の状況

株主名	持株数	持株比率
(有)泉屋	11,501千株	14.58%
山西ワールド(有)	8,433千株	10.69%
(株)泉興産	4,104千株	5.20%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)(信託口)	3,337千株	4.23%
日本マスタートラスト信託銀行(株)(信託口)	3,169千株	4.02%
日本生命保険(相)	2,614千株	3.32%
イズミ広島共栄会	2,596千株	3.29%
(株)広島銀行	2,362千株	3.00%
山西 泰明	2,033千株	2.58%
第一生命保険(株)	2,030千株	2.57%

株価の推移



株主優待制度

株主ご優待券またはギフト券

毎年2月末日および8月31日現在、当社株式100株以上ご所有の株主の皆様に対して、「株主ご優待券」か「ギフト券」をお選びいただき、ご所有株式数に応じて以下の通りお贈りいたします。

ご所有株式数	一回当たり贈呈額	
	株主ご優待券の場合	ギフト券の場合
100株以上	5枚 (1,000円相当)	500円相当
1,000株以上	25枚 (5,000円相当)	一律 2,000円相当
2,000株以上	50枚 (10,000円相当)	
4,000株以上	100枚 (20,000円相当)	
6,000株以上	150枚 (30,000円相当)	
8,000株以上	200枚 (40,000円相当)	
10,000株以上	250枚 (50,000円相当)	

※「株主ご優待券」は、2千円以上のお買上につき、2千円ごとに各1枚(200円券)をご使用いただけます。

泉美術館ご招待券の贈呈

平成24年8月31日現在で当社株式を1単元以上ご所有の株主の皆様へ「泉美術館ご招待券」を贈呈させていただきます。

本物の文化とやすらぎを…。

財団法人泉美術館



- 開館時間
午前10時から午後5時
(入館は午後4時30分まで)
- 休館日
月曜日(祝祭日は開館)、年末年始
※展示替えによる臨時休館あり
- 住所
〒733-0833 広島市西区商工センター2丁目3番1号 エクセル5階
TEL(082)276-2600
- ホームページ
<http://www.izumi-museum.jp/>

株主メモ

事業年度	毎年3月1日から翌年2月末日まで
定時株主総会	毎年5月開催
基準日	定時株主総会 毎年2月末日 期 末 配 当 金 毎年2月末日 中 間 配 当 金 毎年8月31日
公告掲載新聞	日本経済新聞
上場金融商品取引所	東京証券取引所市場第一部 大阪証券取引所市場第一部
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[郵便物送付先]	〒183-8701 東京都府中市日鋼町1番10 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
[電話照会先]	☎0120-176-417
インターネットホームページアドレス	http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html

■ 株式に関する住所変更等のお届出及びご照会について

証券会社の口座をご利用の場合は、三井住友信託銀行ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。
証券会社の口座のご利用がない株主様は、上記電話照会先までご連絡ください。

■ 特別口座について

株券電子化前に「ほふり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。